



地域金融機関と協調し、サホロ畜産事業協同組合に対し、
畜産処理施設の増設資金として総額20億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、シンジケートローンへの取組み等を通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献してまいります。

商工中金（帯広支店）は、サホロ畜産事業協同組合（本社：北海道上川郡、代表者：藤原啓喜）に対し、畜産処理施設の増設に必要な資金として総額20億円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金と帯広信用金庫が共同アレンジャーを務め（※）、十勝信用組合、釧路信用金庫が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

（※1）商工中金は、2023年3月に帯広信用金庫と「シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書」を締結しています。

同組合は、北海道十勝管内の畜産廃棄物を原材料として食用油や工業用油を製造しています。今回同組合は、本シンジケートローンより調達する資金を活用し、畜産処理施設の増設を計画。施設の処理能力を拡大し、大規模化が進む畜産業の事業運営を支えていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者等へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みや課題を共有。本プロジェクトが同社の企業価値向上に必要と考え、地域金融機関と協調して本融資契約を締結しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	コミット型タームローン	20億円
共同アレンジャー兼エージェント	商工中金	7億円
共同アレンジャー	帯広信用金庫	9億円
参加金融機関	十勝信用組合、釧路信用金庫	合計4億円
契約締結日	2024年9月18日	

【サホロ畜産事業協同組合の概要】

所在地	北海道上川郡新得町字上佐幌西3線49-2
代表者	藤原 啓喜
出資金	1,000万円
設立	2003年8月
業種	動物性油脂製造業ほか